

順天堂大・天野教授

# 「患者が望む人生を」

## 札幌で講演 外科医の思い語る

天皇陛下の心臓手術を執刀した順天堂大の天野篤教授（60）と、脳神経外科手術の世界的権威である米デューク大の福島孝徳教授（74）による講演会が、札幌市西区の市生涯学習総合センターちえりあで開かれた。

北海道大野記念病院（大野猛三院長）の開院を記念して企画された市民公開講座で、8日に行われた。約200人が耳を傾けた。天野教授は、自らも携わった心臓の手術で父親を亡くした経験から「安全で、術後も長期にわたり安心で

（坂本有香）

きる術式を確立させることを決意した」と語った。

2012年の天皇陛下の手術で行った術式で、心臓を動かしたまま血管を縫合するオフポンプ手術も動画で紹介。これまで出会った患者に感謝し、「どんな患者でも体や医療費の負担が少

なく、望む人生を送れるようにするのが、私の残された使命」と結んだ。



天皇陛下の心臓手術を執刀した天野篤教授。外科医としての思いを語った。

福島教授はがんや脳卒中の早期発見や予防の重要性を強調。「検診や脳ドックを受けて」と呼び掛けた。北海道大野記念病院は、社会医療法人孝仁会（釧路）のグループ病院である心臓血管センター北海道大野病院（西区）、札幌第一病院（西区）の機能を統合再編して新設した。15日、西区宮の沢2の1に開院する。